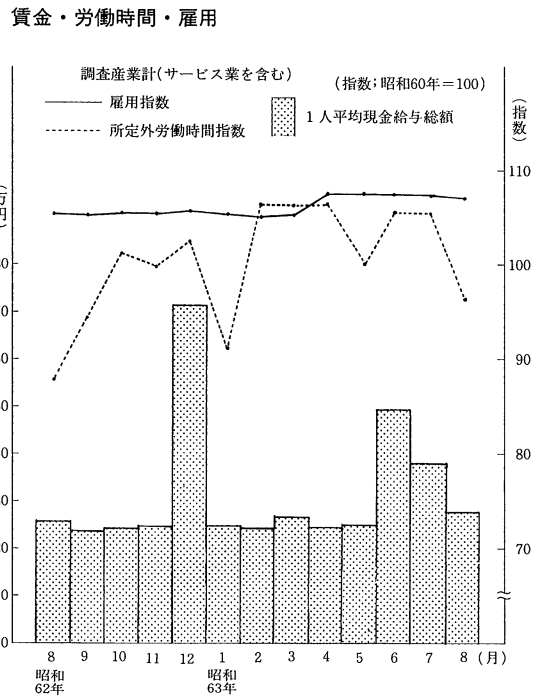
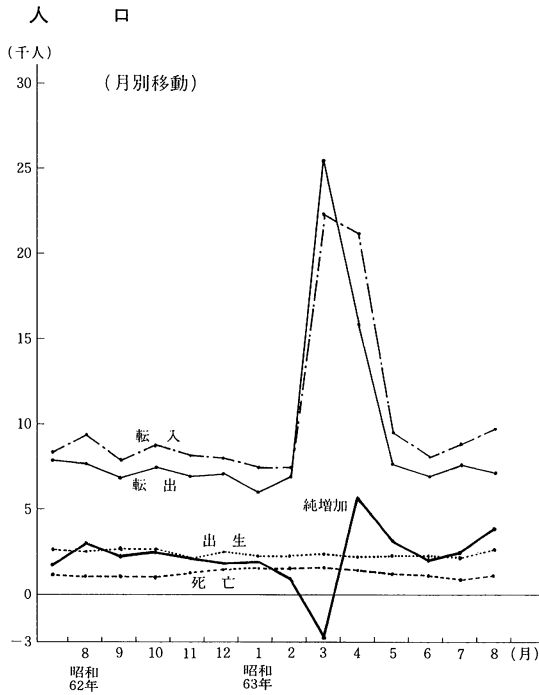
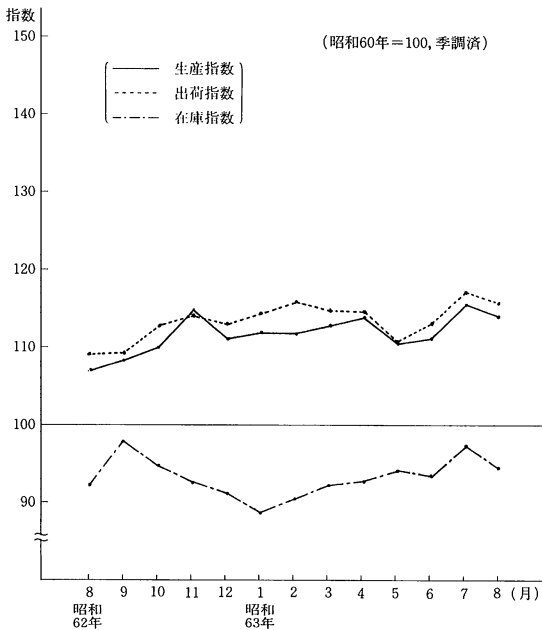


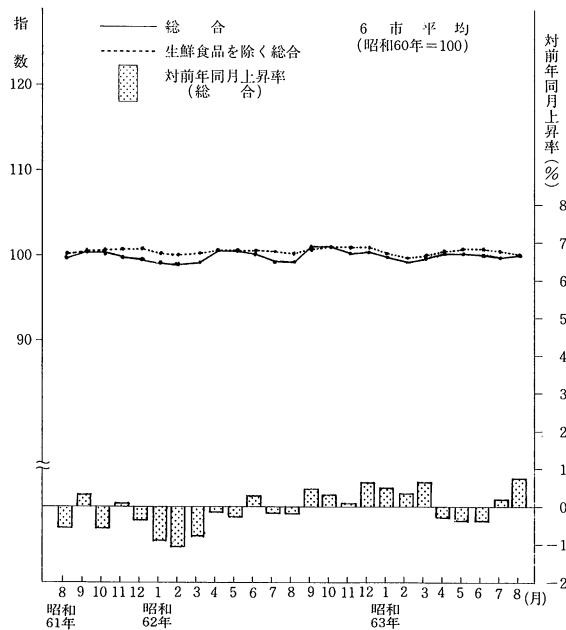
今月の主な動き



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部 統計課

■ 人 口 (9月1日)

本県の人口は、8月中に4,112人増加し、9月1日現在で2,795,502人(男1,393,178人, 女1,402,324人)となった。

内訳は、自然動態で1,442人(出生2,895人, 死亡1,453人), 社会動態で2,670人(転入10,041人, 転出7,371人), それぞれ増加した。昨年9月1日現在と比較すると、数で

27,776人, 率で1.00%の増加である。

市町村別では、増加が18市56町村, 減少が2市11町村, 増減なしが1村である。

世帯数についても、1,218世帯増加して、796,701世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (8月)

1. 平均賃金の推移

8月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は279,974円で前月に比べ26.8%減(前年同月比10.3%増)であった。

このうちきまって支給する給与は247,022円で前月に比べ0.9%減(前年同月比5.5%増)であり、特別に支払われた給与は32,952円で前年同月に比べ100,365円減であった。

〔注〕先月は賞与(ボーナス)支給月のため、対前月比が大きく変動している。

2. 労働時間

総実労働時間数は167.7時間で、前月に比べ9.5%減(前

年同月比1.6%増)であった。

このうち所定内労働時間数は150.5時間で、前月に比べ9.6%減(前年同月比0.6%増)であり、所定外労働時間数は17.2時間で、前月に比べ8.5%減(前年同月比10.1%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると107.0で、増減率は前月に比べ0.4%減, 前年同月に比べ1.6%増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (8月分)

本県における昭和63年8月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が114.6, 出荷が116.1, 在庫が94.5で前月比は、生産が△1.5%の低下, 出荷が△1.2%の低下, 在庫が△3.2%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が7.1%の上昇, 出荷が6.1%の上昇, 在庫が2.0%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、輸送機械工業、化学工業等が上昇し、精密機械工業、その他工業、食料品・たばこ工業等が低下した。出荷では、鉱業、化学工業、輸送機械工業等が上昇し、一般機械工業、精密機械工

業、その他工業等が低下した。在庫では、繊維工業、窯業・土石製品工業、一般機械工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、食料品・たばこ工業、その他工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財、非耐久消費財が上昇し、耐久消費財、資本財、鉱工業用生産財等が低下した。出荷では、耐久消費財、その他用生産財、鉱工業用生産財等が上昇し、資本財、非耐久消費財が低下した。在庫では、資本財、建設財が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財、耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (8月)

昭和63年8月の茨城県消費者物価指数は、総合で100.3(昭和60年=100)となり、前月比0.4%の上昇, 前年同月比0.7%の上昇となった。

今月上がった主な項目……野菜・海藻2.0%, 乳卵類2.9%, 魚介類2.6%, 他の光熱1.3%

今月下がった主な項目……衣料△5.6%, シャツ・下着△3.6%, 飲料△1.0%, 履物類△0.4%

生鮮食品を除く総合は100.5となり、前月比△0.1%の下落, 前年同月比0.1%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	100.3	0.4	0.7	保健医療	103.1	0.0	0.2
食料	99.4	1.6	1.5	交通通信	100.1	0.3	△1.0
住居	107.7	0.2	2.5	教 育	113.2	0.0	2.8
光熱・水道	88.0	0.1	△2.1	教養娯楽	102.2	1.0	0.6
家具・家事用品	98.8	△0.3	△0.2	諸 雑 費	103.1	0.1	0.1
被服及び履物	98.0	△3.5	0.8	生鮮食品を除く総合	100.5	△0.1	0.1